

市政運営の基本方針

古河市の持続的な発展につなげる 3つの柱

1つめの柱

地域活性化の推進

地域の強みを生かし古河市ならではのまちづくりを進めるため、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した地方創生事業に取り組みます。観光の拠点である道の駅やネーブルパークなどの再整備と、民間と連携して新たなテレワーク施設の支援を行います。地域交流の場の魅力を高めることで、関係人口の増加と地域の活性化や振興につなげていきます。

また、市民の皆さまとともに「こがくらす」を合言葉としてシティブランディングを進めます。さらに、地場産業の担い手育成や市内企業の支援など、地域経済を牽引していく企業との連携を図り、官民連携によって社会課題の解決に取り組んでいきます。

2つめの柱

GXおよびDXへの投資

2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指して、市では2020年にゼロカーボンシティ宣言をしました。環境省の脱炭素先行地域の認定も視野に入れて、CO₂排出量の削減に向け、S

3つめの柱

包摂社会の実現

DGsの理念に沿って、市民・事業者・行政が一体となって地域ぐるみで取り組みます。

DXは社会課題を解決する重要な手段であるため、デジタル田園都市国家構想の推進により、市民の皆さまがデジタル化のメリットを享受できるよう取り組みます。IT戦略プランで掲げる「DXで変わる、つながる、みんなの古河市」を目指して、市民の利便性向上と行政運営の効率化を推進します。

子育てに夢や希望を感じられる社会を目指し、結婚、妊娠・出産、子育てのライフステージに応じた総合的な取り組みを推進し、社会課題の解決と多様性に富んだ包摂社会の実現に向けて、持続可能で包摂性のある安全安心の確保を目指します。

家事や家族の介護などを日常的に行い、負担を強いられているヤングケアラーや生活に困窮している世帯の子どもなど、支援を必要としている子どもの実態が調査により明らかとなりました。令和5年度は、これらの問題に対する支援体制を構築していきます。

令和5年度施政方針

まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり

古河市長

針谷力



令和5年度における市政運営の基本方針および、未来を見据え輝く古河市を創造するための主要施策等の概要について説明します。

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されてから約3年が経過しました。国は、新型コロナウイルスについて、特段の事情が生じない限り、5月8日に感染症法上の位置付けを、季節性インフルエンザと同じ5類感染症に引き下げる方針を示しています。今年度は、社会経済活動が回復し、顔を見て互いに話ができる日常が戻っ

てくることを願っています。

これまで新型コロナウイルスの流行の波は8回に及び、今もなお続いています。また、インフルエンザとの同時流行が懸念される中、医療現場等でご尽力いただいているエッセンシャルワーカーの皆さまには、改めて感謝を申し上げます。市民の皆さまには、基本的な感染対策や適切な換気、ワクチン接種などに、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市政運営の基本方針

国は、国民の命や暮らしを守るため、新しい資本主義の実現に向け、官と民の新たな連携の下で賃上げ・投資促進・子育て支援強化に取り組み、持続可能で格差の少ない、力強い成長の基盤をつくり上げていく方針を示しています。市でも、国の施策を注視しながら、地域経済の好循環につながるよう地方創生に取り組み、次の世代に引き継いでいきます。

そのため、第II期基本計画で掲げる市政宣言「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」を市政運営の指針とし、限られた財源を有効に生かしながら、発展的かつ持続的な施策を展開していきます。

GX・DXとは？

<p>グリーンTRANSフォーメーション</p> <p>GX (Green Transformation)</p> <p>化石燃料をできるだけ使わず、環境への負荷が少ないエネルギーを活用し、カーボンニュートラル(脱炭素社会)を実現するための取り組みです。</p> <p>カーボンニュートラルとは排出せざるを得なかった温室効果ガスを吸収や除去をして差し引きし、全体の排出量をゼロにすることです。</p>	<p>デジタルTRANSフォーメーション</p> <p>DX (Digital Transformation)</p> <p>情報通信技術を浸透させて、私たちの生活をあらゆる面でより良いものへ変革させるという考えです。「Trans」を「X」と略し、一般的に「DX」と表記されます。</p> <p>市では、引き続き各種手続きのオンライン化や公共Free Wi-Fi導入施設の拡大を進めます。</p>
---	---